

世界 COPD デー 2025

COPD という病気を、ご存知ですか？
日本語では、慢性閉塞性肺疾患、と訳されています。
かつては「肺気腫」や「慢性気管支炎」などとよばれていました。

喫煙がおもな原因で、息切れや咳・痰が増え、酸素吸入も余儀なくされる病気です。
そのため、別名「タバコ肺」ともよばれています。



1997 年、WHO や米国国立衛生研究所の協力のもと、COPD の啓発と予防・治療を進める世界的組織、GOLD (COPD のためのグローバル・イニシアチブ) が発足しました。

GOLD は 2002 年から毎年、世界 COPD デーを、11 月の第 3 水曜日に開催しています。2025 年の世界 COPD デーは 11 月 19 日(水)です。

今年の世界 COPD デーのテーマは、"Short of Breath, Think COPD (その息切れ, COPD かもしれません)" です。息切れを感じた時には、COPD という病気の可能性もあることを啓発したものです。COPD は世界では死因の第 3 位～4 位と重要な死因の 1 つで、日本でも潜在的患者数は 500 万人以上と推計されていますが、まだまだ病名として普及しておらず、正しく診断されていないことが多々あるため治療を受けている患者さんは全体の 1 割程度となっています。



https://www.gold-jac.jp/about_wcd

このように COPD は非常に頻度の高い疾患の 1 つで、適切に診断と治療を行えば、予防や治療可能な疾患です。しかし、きちんと診断されないで治療を受けることができなかつたり、不十分な治療で終わってしまったりする恐れがあります。息切れは心臓の病気の症状と思われがちですが、COPD の症状と似ているため区別するには適切な検査を受けて正しく診断される必要があります。

Point! **COPDを疑う特徴・・・疑うことが大切**

① 喫煙歴あり（特に40歳以上）
② **咳**（特に湿性）、**痰**、喘鳴
③ 労作時（階段や坂道の登りなど）の**息切れ**
④ 風邪（上気道）症状時の②、または③（風邪で顕在化することあり）
⑤ 風邪（上気道）症状を繰り返す、または回復に時間がかかる
⑥ 下記疾患（COPDに多い併存症）患者
心血管疾患、高血圧症、糖尿病、脂質異常症、骨粗鬆症など

心不全症状と鑑別

喫煙歴
咳、痰
労作時の**息切れ**
喘鳴がある
風邪症状を繰り返す
風邪の回復に時間がかかる

<https://www.jrs.or.jp/comore-by2032/download/#step2>

COPD を早期に適切に診断することは公衆衛生の観点からも非常に大切です。早期診断と適切な治療により症状や呼吸機能が改善し、日常生活の質も向上することが期待できます。息切れや長引く咳、痰などの症状がある、肺炎にかかったことがある、タバコを吸っている（吸っていた）、仕事の中で粉塵を吸入している（していた）、などのエピソードが場合は COPD の可能性を考える必要があります。COPD は呼吸機能検査（スパイロメトリー）を行うことで正確に診断できます。

まずは COPD という病気について正しく理解し、気になる呼吸の症状があれば、ぜひお近くの病院や診療所を受診してください。